



シンポジウム開催案内

●日本鉄鋼協会 基礎研究会 耐熱強靱チタン研究部会シンポジウム

日本でチタンの研究開発はどこまで進んでいるか

耐熱強靱チタン研究部会は、純チタンおよびチタン合金について低温から高温までの広い温度範囲での強靱性向上を目的として平成2年度に発足し、それ以来12回の講演会を開催して活動してきました。その結果、強靱性向上のためのプロセス技術の制御や組織因子の制御指針などについて多くの知見を得ることができましたので、その研究成果を報告すると共に、各分野での最近の進歩を総括するシンポジウムを下記により開催いたします。精錬から利用技術までの広い領域で、チタンに関心のある多くの方々のご来聴と討論への参加をお願い申し上げます。

なお、当研究部会は上記のような講演を通じての研究活動と共に、(1)組織制御と高温特性の基礎となるチタン中の拡散データの取得と、(2)疲労特性の評価、を目的とし、2つのワーキンググループを設置して共同研究も実施してきました。これらの共同研究成果は、当シンポジウムとは別の機会に改めて報告することを申し添えます。

1. 主 催：(社)日本鉄鋼協会
2. 協 賛：チタニウム協会、日本金属学会、日本鋳物協会、日本機械学会、日本航空宇宙学会、日本材料学会、日本塑性加工学会、日本造船学会、日本粉末冶金工業会、日本溶接協会、日本歯科医学会（依頼中）
3. 日 時：平成5年7月9日(金) 9:15～17:10
4. 場 所：鉄道弘済会館(千代田区麹町5-1) TEL(03)5276-0333
5. プログラム

(1)9:15～9:30	開会挨拶と活動の経緯		部会長:岸 輝雄(東 大)
(2)9:30～10:00	精錬		小瀬村 晋(東 大)
(3)10:00～10:30	溶解		金井 章(大 大)
(4)10:30～11:00	鑄造		鈴木健一郎(川 鉄)
(5)11:00～11:25	塑性加工(純チタン)		石山 成志(住 金)
(6)11:25～11:50	塑性加工(合金)		岡田 稔(住 金)
(昼 食 11:50～13:00)			
(7)13:00～13:30	強度・靱性		河部 義邦(金材技研)
(8)13:30～14:00	高温特性		飯久保知人(大 同)
(9)14:00～14:30	疲労特性		藤田 高弘(N K K)
(10)14:30～15:00	表面特性		滝 千博(日鉱金属)
(休 憩 15:00～15:15)			
(11)15:15～15:45	水素の影響		吉村 博文(新 日 鐵)
(12)15:45～16:15	拡散と相変態		大山 英人(神 鋼)
(13)16:15～16:50	新合金		西村 孝(神 鋼)
(14)16:50～17:10	まとめと挨拶		幹事長:河部 義邦(金材技研)
6. 参加費：1,000円
7. テキスト：4,500円
8. 事務局：〒100 千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階 (社)日本金鋼協会 技術室 上村一郎または大島孝子
TEL(03)3279-6021 FAX(03)3245-1355
9. 申込み・問合せ先：FAXにより上記事務局宛お送り下さい。(参加者制限:先着順130名まで)



●日本鉄鋼協会 基礎研究会 鉄鋼業における炭酸ガス抑制対策研究部会シンポジウム

炭酸ガス抑制と製鉄プロセスの未来

1. 日 時：平成5年7月12日(月) 9:30～17:30
 2. 場 所：東京大学山上会館
 - I. 炭酸ガス問題をどうとらえるか
 - II. 炭酸ガス抑制対策
 - II-I. 現行の製鉄システムをベースにした展開
 - II-II. 石炭の総合的利用
 - II-III. 低廉電力利用プロセス
 - II-IV. CO₂の固定
 - III. 製鉄プロセスの未来と技術開発
 3. 使用テキスト：平成5年6月末完成予定の報告書を使用
 4. 参加予定人員：100名
- ※詳細については、「鉄と鋼」5月号にてお知らせしています。

「平成6年度実施の鉄鋼研究振興資金による助成テーマの募集」と「日本鉄鋼協会平成6年度実施の研究テーマの募集」は、それぞれ「鉄と鋼」Vol.79 No.5(平成5年5月号)のN387頁とN388頁に掲載しております。